

みんなで取り組むまちづくり

○体系の概要

「みんなで取り組むまちづくり」は、市民協働や都市経営、行政経営に関する事項を主な分野として、7つの施策を展開していきます。

市民協働においては、これからの協働のまちづくりを進める上での大切なパートナーである市民、市民活動団体、コミュニティ運営協議会、大学、企業などと相互に連携することに加え、パートナー同士の連携を進めていくことで、協働のまちづくりをさらに進めていきます。

そのため、第一次宗像市総合計画に掲げられた「協働」の理念を引き継ぎ、多様な価値観のもとで、それぞれがまちづくりの担い手となって、自らが有する技術や知識、個性などを活かし、ともに生きる社会を実現していく協働のまちづくりをさらに推進していきます。

都市経営においては、特に企業活動を都市経営に欠かせない活動として位置づけ、大学や企業とともにさまざまな連携や活動を行うことで、まちの活性化につなげていきます。

行政経営においては、引き続き、行財政改革を推進し、中長期的な展望に立ち、人材の育成、組織の強化、財政規律の堅持を行いながら、他の自治体とも様々な分野で積極的に連携していきます。

特に、行財政改革の推進については、行政サービスや事務事業のあり方をゼロベースから見直すとともに、将来世代への負担を残さないためにも、公共施設や公共インフラについてのアセットマネジメントに取り組んでいきます。

また、市内の魅力ある資源についての情報を効果的かつ積極的に内外へ広く発信して、市の魅力や認知度を高めるシティプロモーションに取り組み、交流人口の増加や定住人口の維持を図っていきます。